

と さ き じょう や ま い せ き 戸崎城山遺跡

戸崎城山遺跡の同一地点には、100基以上の古墳からなる戸崎古墳群が広がっています。平成29年度に、戸崎古墳群6号墳の調査を行いました。今から約1,400年前の前方後円墳のくびれ部を発掘しました。今回の調査では、埋葬施設は、検出されませんでした。刀子や鉄鏃などの鉄製品や須恵器の坏、土師器の高坏・坏などが出土しています。



高坏出土状況



古墳の盛土の下には、戸崎城山遺跡の遺構があり、弥生時代の方形周溝墓が検出されました。

名もなきムラの物語

～遺跡からみる君津のくらし～

アビタ君津店 8月7日(水)～8月12日(月)
君津市立中央図書館 8月13日(火)～8月25日(日)

写真・資料 君津市教育委員会
編集・発行 君津市教育委員会生涯学習文化課

令和元年8月6日発行



戸崎城山遺跡



上湯江遺跡

市内には500を超える遺跡があり、古(いにしえ)の人々が生活していた痕跡が今も残っています。

最新の発掘調査成果をもとに、遺跡から昔の君津のくらしを想像してみませんか。

令和元年度 出土遺物公開展
名もなきムラの物語
～遺跡からみる君津のくらし～

上湯江遺跡

平成28・29年度に調査を行い、古墳時代から奈良・平安時代（今から約1,400～1,200年前）までの遺構・遺物が数多く検出されました。貞元コミュニティセンターの東側では、^{たてあなじゆうきよあと} 竪穴住居跡が7軒検出され、古代のムラがあったことが分かりました。他にも、井戸跡や掘立柱建物跡、溝跡などが見つかっています。

出土した遺物は、^{つき} 坏や^{ちょうどうがめ} 長胴甕、^{こしき} 甑などの生活用品が多いです。このほかに、書道の水差しとして使われた^{すいてき} 水滴という土器や、^{せんこく} 線刻のある土器も出土しています。これらの土器から、上湯江遺跡には文字を書くことのできる人がいた可能性が考えられます。



水滴



井戸跡全景及び出土土器



竪穴住居跡全景
(四角く掘られた部分が住居跡です)



線刻土器

外箕輪遺跡

平成28・29年度に調査を行い、弥生時代後期（今から約1,800年前）の竪穴住居跡や、古墳時代から中世（今から約1,400～700年前）までの溝跡、土坑などが見つかっています。遺跡の範囲内には、千葉県指定史跡「八幡神社古墳」（前方後円墳）があります。



平成28年度調査区全景



平成29年度調査